

横浜市中学校生徒英語弁論大会

平成19年8月23日

西公会堂

今年の夏は暑かった。猛暑と言われ、気温も40度を超えた新記録のニュースもありました。横浜の駅を降りて西公会堂まで歩くとおおよそ10分。距離としてはたいしたことない道のりであるにもかかわらず、今年の暑さは比較にならないほどでした。じっとしていても汗が流れるのに、駅からの10分の徒歩で滝のように汗が流れていたことを覚えています。

さて、今年のスピーチコンテストはどうだったのでしょうか。英語発音はどの生徒もすばらしい、の一言です。以前なら発音には歴然とした差が生じていたはずですが、ところが近年、その差は縮まっています。このコンテストの審査観点の一つに発音があります。この観点では差をつけることが難しいといっても過言ではありません。言い方を変えれば、発音においては油断できないということです。

もう一つの審査観点に表現(Delivery)があります。Over-gesture は必要ない。Performance もいらない。必要なのは Persuasive な Eye-contact です。そして、それを補佐する上半身の動きとなります。この点においては残念な動きの多かった大会だったと感じました。

3分という短い時間の中で自分の考えを論じる。それも英語を習い始めて2年少々の中学生が英語でやってのけてしまうのです。英語が好きだというだけでは成し遂げることはできません。普段から周囲のことに気を配り、様々な考えをめぐらせておかなければまとまった考えを述べることはできないと思います。

毎年のことではありますが、大会スタッフの頑張りには目を見張る物があります。研修に参加しながら準備と運営をしてくれました。参加した生徒たちが気持ちよく発表できるように、裏で走り回るスタッフには頭が下がる気持ちでいっぱいです。



順位	生徒名	タイトル	学校
第1位	大岩 さや	Under the candlelight	豊田中学校
第2位	衛藤 麗星	My Learning as a Leader	中川中学校
第3位	岸和田 碧	Three Seconds	田奈中学校
第4位	和田 凌一	I was alive	城郷中学校
第5位	石井 水都	“Kouhai” and “Senpai”	境木中学校

文責:松本中学校 赤峰 準